

訪日客ご案内手厚く

東京都内で訪日外国人客向けに手厚いサービスを提供する観光案内所が相次いでお目見えする。東京都は来春、JR新宿駅南口に観光バスのチケット手配や外貨両替などができる施設を設ける。大田区は11日に、茶道や華道などの日本の文化を体験できる拠点を開く。急増する海外からのお客に自治体の外国語サイトなどを通じて利用を呼びかける。



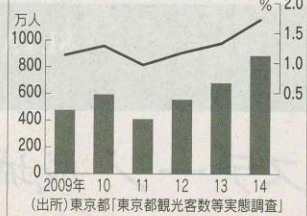
大田区観光情報センターでは茶道などの体験ができる。(10日の内覧会)

拠点新設相次ぐ

都が設ける「東京観光情報センター」(約350平方メートル)は、コンサートなどのイベントのチケットの予約、ホテルの宿泊予約やきつぷ手配など

東京都 チケット・宿泊予約 大田区 茶道や生け花体験

都を訪れた外国人旅行者数と、旅行者全体に占める割合



案内所、質・量ともに不足

都内の観光案内所は質量とスの内容に応じて3段階に分け、最も質が低い「カテゴリー3」は例え2020年の東京五輪開催、英語対応は必須で英語以外の外国人観光案内所をサービスに向上させる必要がある。日本観光局(JNTO)が常時可能。「1」はパートタイムで英語対応が可能なスタッフが、大田区

五輪へ底上げ必要

「3」は都や台東区などの7施設にすぎない。14年に都内を訪れた外国人客は前年比3割増の887万人で、15年はさらに上回る見通し。案内所周知などのため、大田区も今年、6カ国語に対応したサイトを立ち上げた。

決める。旅行者が求める様々なサービスを一通り提供できるのが特徴だ。場所は新宿駅南口に整備中のバスターミナルビル3階。都の観光案内所は、営業時間は午前6時半〜午後11時までで早朝深夜の客にも対応する。旅行手配などの民間サービスの営業時間は未定。英語や中国語など

英語と日本語で職員が常駐するほか、中国語と韓国語対応スタッフが交代で勤務する。京急蒲田駅に直結する商業施設内で羽田空港の交通アクセスも良い。区の観光課は「センターを起点として、商店街や銭湯など地元の人々と交流してもらいたい」と期待。観光案内所のほか、区の工芸品や地元で評判の菓子なども販売する。同センターは無休で営業時間は午前9時〜午後9時まで。

橋地区に外国人に対応する拠点を設ける。英語や中国語で観光案内を受けられたり、情報端末を置いて検索したりできる「観光情報センター」(仮称)を現在、建設中のビル内に開設する計画だ。地下1階と1階が区の施設で3〜6階には観光関連の事業者が入居してもらう考えだ。ビル全体を区の観光拠点と位置づけ、銀座と日本橋へのアクセスの良さを生かして、今後、案内所を訪れる外国人にPRする。